

2020年度 発達支援つむぎふじみ野ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	1	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.38	指導時間前と指導時間後に清掃する時間を設けること、整理整頓を常に心がけておりますが、引き続き環境整備に努めてまいります。
	2	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.25	お子様のニーズに合わせて配置しています。職員研修を充実させ、専門性を高め支援に努めてまいります。
	3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.63	休憩の時間は確保されているが、休憩時間に各自の事務仕事を進めることはある現状ではあります。業務分担をしていくことで一人一人の負担を減らせるよう努めてまいります。
	4	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		専門士が在籍していない、人員の増加があれば更により等の意見あり。専門士がいなくて支援の幅が狭まることのないよう、ルーム内勉強会を行っていくなどの対策を進めていきます。
業務改善について	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員がまじり込んでいるか。	3.50	つむぎ職員間での情報共有だけでなく、併設の保育園職員との情報共有も今後強化してまいります。
	6	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.88	毎回貴重なご意見を頂戴しております。頂いたご意見は全スタッフで共有し改善点についても全スタッフで話し合い改善に向かえるよう努めてまいります。
	7	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.25	カフェスペースに掲示のほか、ホームページで公開しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.00	昨年度、行政の実地指導を受審し、その評価結果を業務改善につなげてまいります。
	9	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.00	法人では、子育てスキル講座をはじめ様々な研修機会が用意されており、スタッフはできる限り参加しております。今後は自ルームでの勉強会を行う機会を設けていけるよう検討しております。
	10	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		業務について気づいた事がある場合、その都度報告し迅速に改善するよう努めています。
適切な支援の提供について	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.38	共通のアセスメントツールを使用し、記入者以外の職員が見ても分かりやすいツールになっています。今後もツールの内容が適切か等は再度確認していきたいと思っております。
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.13	アセスメント後、策定会議を行った上で個別支援計画を作成しています。
	13	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.88	6ヶ月ごとに支援目標を立てておりますが、お子さまの成長の具合に合わせて柔軟に変更したり、成長をとらえやすくするため、さらに短期間でのスモールステップの目標設定も加えるなど努めてまいります。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.13	室内、園庭、散歩、植物の世話など様々なプログラムを取り入れることや、併設の保育園児と関わること等、様々な人との関わりの中で本物の体験をより多くできるように組み立てております。
	15	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.00	指導前に必ずプログラム内容について打ち合わせするとともに、お子さまの様子によって臨機応変に対応できるよう、職員間で役割分担や支援目標について確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.38	毎日、職員間で支援の振り返りを行い、一人一人の小さな成長にも気づけるよう職員間で共有しております。また、関わり方や支援の仕方についても共通の対応ができるよう話しています。
	17	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.38	支援内容や保護者さまとお話した内容は正しく記録し、その後の支援へとつなげていけるよう今後も努めてまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.25	6か月に一度定期的にモニタリングを行い、適用期間内に次期の個別支援計画を提示できるよう今後も努めてまいります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.75	児童発達支援ガイドラインに従い、活動を複数組み合わせる支援を行うよう今後も努めてまいります。
	20	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		適切な指導が提供できているか、指導後に振り返りの時間を設けていること、ルーム全体で検討や改善が必要な際は迅速に話し合いを行い、適切な提供を行えるよう努めてまいります。
保護者との係連機関について	21	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.50	指導の振り返りの時間に保護者さまと状況や課題を共有するよう努めております。また、相談支援加算の制度利用についても積極的に提案してまいります。
	22	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.63	保護者さまへ関係機関連携加算の制度を説明し、了承を得て園訪問に伺っております。園での様子やつむぎでの様子を共有することや支援についてアドバイスを行うこともあります。今後も連携を広げていけるよう努めてまいります。
	23	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.25	個別に他事業所と連絡をとることや、訪問に伺うことで連携をはかっております。今後もさらに情報共有できるよう努めてまいります。
	24	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.25	相談支援事業所とも連携し、就学後に利用される事業所へ情報の提供をできるよう努めております。セルフプランの方についても状況に応じて利用先の事業所と連携してまいります。

保護者と関係機関にやっついて	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.13	地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し、情報共有をしております。
	26	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.25	会議の周知があった際は積極的に参加するよう努めております。
	27	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.25	保育園併設という環境を生かし、子ども同士お互いに成長しあう機会を今後もより一層提供できるよう努めてまいります。
	28	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2.88	今年度はコロナの影響で行えておりませんが、子育て支援センターと連携し、地域のお子さまや保護者さまが気軽に参加できるような行事を企画したいと検討しております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	2.88	現在は振り返りの時間などに、お子さまとの関り方を相談させて頂くことが主ですが、今後はスタッフがペアレント・トレーニングの研修を受講し、その後支援を行けるよう努めてまいります。
	30	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		関係機関との連携のため、園訪問や事業所訪問に伺っております。今後も保護者の方の同意を得て関係機関との連携を図っていきます。
保護者やお子さまへの対応などについて	31	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.13	安心してご利用頂けるよう、契約時には分かりやすく説明するよう心がけております。利用開始後でも、ご不明な事があればいつでもお訊ね下さればご説明させていただきます。
	32	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.88	通常は振り返りの時間や、お子様の指導時間で保護者様が待機されている時間でご相談にも応じておりますが、まとまった時間での相談を希望される場合、「相談支援加算」という制度を利用し、30分程度の面談をおこなっております。
	33	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.75	つむぎカフェや待機スペースを利用して頂き保護者の方同士が気軽に話せる環境作りをしております。また、OB保護者さまを招待しての懇談会を開催いたしました。今後も企画検討してまいります。
	34	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.88	頂いたご意見は、その日のうちに全スタッフ間で共有させて頂き、話し合いを設け改善に向かえるうにしています。今後も迅速な対応に努めてまいります。
	35	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	3.88	告知に関しては主に配布文書で、また活動報告に関しては今年度よりつむぎのブログを開始しております。ぜひご覧下さい。また告知に関してご不明な点があればいつでもお気軽にお声がけください。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	3.75	今後も日々の対応を振り返りながら、誰にでも伝わりやすい意思疎通ができるよう努めてまいります。
	37	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.25	パソコンは各個人のログインIDとパスワードがあり、他者が開くことのできない仕様になっております。また個人記録ファイルは鍵付きの書庫で厳重に保管しております。今後も徹底していきます。
	38	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	3.88	毎日朝礼と夕礼で情報共有を行っております。休み明けの職員にも情報共有が徹底されるよう、業務日報への記載もしっかりと行い、確認を努めてまいります。
	39	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		気づきがあった際には、スタッフ間で迅速に共有し対応していきたいと思っております。
非常時の対応について	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.50	新しい職員も把握しやすいよう、該当する事項が起こる前や、起こった際には必ず内容の確認を行うようにしています。今後定期的に読み合わせを行い、更に把握し対応できるよう努めてまいります。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	3.88	月一回、保育園と合同で、様々な状況を想定しての訓練を行っております。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.13	今後県主催の虐待防止研修にまいりついでいき、職員間で意識を高めてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.00	毎日終礼時にヒヤリハットの有無を共有し、危険な場面の想定や事故に繋がらないよう対策の検討に努めてまいります。事例集としては事故防止委員会で作成頂いたものより話し合いを行っております。
	44	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		毎月様々な想定をしての避難訓練を行っております。非常時の対応について改めて見直し、安心してお子さまを預ける事ができるよう努めてまいります。
満足度について	45	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.13	つむぎに通うことを楽しみにしているとお声を多数頂戴しております。子どもの気持ちを真ん中に置き、そこから成長していくことができるような支援となるよう、職員一同今後も努めてまいります。
	46	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することができるか。	4.25	成長した様子や小さな変化を全スタッフで共有する時間を今後も作っていき、皆が実感し今後の指導に生かしていけるよう努めてまいります。
	47	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		改善点等があった際に迅速な対応ができるよう、日々情報共有し、スタッフ間で話し合いを行うことや、小さなこでも伝え合うことを大切に努めてまいります。

アンケート実施期間：2020年8月18日～9月5日
全回答数：8

発達支援つむぎ ふじみ野ルーム